



Sougou Volunteer Station

総ボラ！



東北学院大学
総合ボランティアステーション

2026

ボランティア情報誌



I. 総合ボランティアステーション

部門長 / 代表挨拶	3
総合ボランティアステーションとは	4
HISTORY～総合ボランティアステーションの歴史～	5

II. 学生運営チーム

III. 災害ボランティア

登録方法	9
活動紹介	10

IV. 総合ボランティアステーション登録学生団体

学生運営チーム	12
てらいく	13
エコクリーン	14
情報リテラシー教室	15
学生団体募集中	16

VI. なんでも相談室

VII. コーディネーターの先生挨拶

VIII. インフォメーション



Naomasa Yokota

東北学院大学総合ボランティアステーション部門
部門長 横田 尚昌

みなさんは、大学を卒業すれば、これまで受身に育ててもらった立場から、仕事を通じて能動的にサービスを提供する立場となります。それは一人でできるものではなく、周りの仲間の力を借りて協働しないと達成困難です。でも、そのための協調性を、どうすれば培えるのかは自ら考えていかななくてはなりません。その一助となるのがボランティア活動です。上命下服となりがちなアルバイトとは違って、ボランティア活動はお互いの利害を超えた人と人との触れ合いを通じて、人の役に立てる自分を主体的に育む好機です。そこでは、自分の持ち味を活かす術が必ずや見出せると信じます。

当ステーションでは、安全安心の観点から、みなさんに活動していただくに相応しいボランティアニーズを選び出して紹介します。そして、運営チームの先輩が、活動への不安や不明なことの相談に乗ってリードしてくださいます。みなさんの積極的なボランティア登録をお待ちしております。



Hirami Haruhi

東北学院大学総合ボランティアステーション
学生運営チーム代表 平見 春陽

これまで本学では、災害ボランティアをはじめ、地域のイベント運営や交流活動など、多様なボランティアが行われてきました。一方で、「何から始めたらいいのかわからない」「自分にできるか不安」といった理由から、一步を踏み出すことが難しいと感じている人も少なくありませんでした。

ボランティアと聞くと、「特別な人がやるもの」「時間に余裕がある人だけができるもの」といったイメージを持つ方もいるかもしれません。しかし、私たちが大切にしているのは、そうした特別さではなく、「少し気になる」「やってみたい」という小さな気持ちです。その一步が、誰かの支えになり、自分自身の新しい経験や成長にもつながっていくと考えています。実際に現場に足を運び、さまざまな人と関わる中で、自分の視野が広がったり、これまで気づかなかった社会の課題に目を向けるきっかけになったりします。

この冊子を通して、私たちの活動やボランティアを少しでも身近に感じていただけたら嬉しいです。そして、もし興味を持っていただけたなら、ぜひ一度気軽に参加してみてください。経験の有無は問いません。一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを、私たちは大切にしています。

これからも、地域や社会に寄り添いながら、できることを一つひとつ積み重ねていきます。今後とも温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



東北学院大学 総合ボランティア ステーション



1 東北学院大学総合ボランティアステーションとは

東北学院大学総合ボランティアステーションは、東北学院大学の全学生が行う「ボランティア活動」への支援を行う組織です。

※総ボラ・・・総合ボランティアステーションの略

2 主な活動内容

- ・ ボランティア活動に関する情報の提供、相談支援
- ・ ボランティアチームの登録

特徴的な活動①ボランティアチームの登録

総合ボランティアステーションでは、希望するテーマや活動内容に基づく「ボランティアチーム」の登録が可能です。

＊個人もチームとしての登録OK！

＊チームは複数掛け持ちでもOK！（リーダーの重複は不可）

特徴的な活動②ボランティアチームのネットワーク化

総合ボランティアステーションでは、「TG-VNET」という登録チーム同士が交流・情報交換できるような仕組みがあります。

HISTORY

東北学院大学の ボランティアの 歴史

ボランティア活動始動

個人やサークル、部活動などが行うボランティア活動、セツルメント活動

1886
5/15

仙台神学校設立

生徒による自発的な地域での活動展開

1970～

東日本大震災

2011年3月11日14時46分に三陸沖で発生したマグニチュード9.0の巨大地震、観測史上最大級の大規模災害

2011
3/11

災害ボランティア ステーションの発足

東北学院大学が災害ボランティア活動に従事
大学として、学生のボランティア活動の支援体制について議論され、学内組織として災害ボランティアステーション発足

2011

総合ボランティア ステーション発足

災害支援のために作られた災害ボランティアステーションだが、これからは学院生のボランティア支援をしようと組織が発展的に再編される

2023



学生運営チームの発足

OneDayボランティアプロジェクト、SNS運用、相談ブースなど、総合ボランティアステーションの運営をする学生団体

2023

※地域での ボランティア活動

大学近隣地域から宮城県内の各地域での活動



2024

能登半島地震支援 酒田市水害支援

2024年1月1日に起きた能登半島地震への支援
大雨による被害を受けた酒田市での災害ボランティア活動

能登半島地震支援

昨年と引き続き石川県輪島市、能登半島にて災害ボランティア活動

2025





学生運営チームの活動紹介

学生運営チームとは？

総合ボランティアステーション略して「総ボラ」を運営をサポートする学生ボランティア団体！学院大生へのボランティア支援・相談・情報発信をしており、詳しくは下記に記載しております！

△学生運営チームに入らないとボランティアができないわけではありませんのでご安心ください！

01 仙台市社会福祉協議会プレゼンテーション

交流・発表会に出席

『「ボランティア活動の連携・協力に関する協約（パートナーシップ協約）」締結大学全体交流会』にて、総ボラの活動や総ボラに登録しているボランティアチームの紹介をしました。他大学の学生・教職員の参加があり、互いに情報交換の場となりました。



02 OneDayボランティアプロジェクト

1 日体験型ボランティアプロジェクトを企画

学生運営チームメンバーが、登録者のみなさまの「やってみたいこと」や、学生運営チームメンバー自身の「お手伝いしたい！」「やりたい！」という思いをもとに企画する、一日体験型のプログラムです。気軽に参加できる内容で、初めての方でも安心して取り組みます。

ボランティアをやってみたいけれど、何から始めたらいいかわからない方におすすめです！一日だけの参加なので挑戦しやすく、活動を通してやりがいや楽しさを感じることができます。また、仲間と出会い、交流を広げるきっかけにもなります。



03 相談ブース

Q1どんなことを相談すればいいんですか？

ボランティア関連のことならなんでも大丈夫です！
「ボランティアやりたいけど何からやればいいのかわからない！」「こんなボランティアやってみたいんだけどどうしたらいいかわからない！」「この団体について知りたい」などなんでも構いません！



Q2どうやって予約したらいいんですか？

右のQRコードを読み取りInstagramにてDM送っていただければ対応いたします！随時受付中です！

【Instagram】



ぜひ気軽にお話ししましょう！ご予約お待ちしております！

04 SNS活動

SNS運用



Instagram・Xの更新
投稿・リール作成

Onedayボランティア
グループ企画のポ
スター・チラシ作成

ポスター作成



災害時のボランティア活動

STEP
01



総合ボランティア ステーションへの登録

＼登録フォーム／



災害時のボランティア活動に参加するためには
災害ボランティア活動者登録を行う必要があります。
右側のフォームから登録をお願いします！

STEP
02



災害ボランティア活動者登録

災害ボランティア活動者登録は総合ボランティアステーションへ登録後にご希望者のみご登録いただけます。
被災地域での活動をするにあたって事前の研修プログラムの受講が必須となります。また登録したからと言って強制的に参加させられることはありません。参加の可否はご自身の判断で行ってください。

STEP
03



事前の研修プログラム

研修プログラム受講後活動にご参加ください。

STEP
04



被災地支援活動

現地に行って活動を行います。

＜これまでの実績＞

→2024年能登半島地震支援、酒田市水害支援

→2025年能登半島地震支援

被災地支援募金

災害時のボランティア活動は現地に行くものだけが全てではありません。遠隔地からでもできる被災地支援募金などにも取り組んでいます。



被災地支援活動

～募金活動・現地活動～



【Instagram】活動の様子載ってます



募金活動の様子

募金活動

令和6年能登半島地震による地震被害に対して、被災地支援を目的とした募金活動を行いました。学内と学外で活動を行い、たくさんの方々からご寄付をいただきました。集まった寄付金は仙台市社会福祉協議会を通じて被災地域に送らせていただきました。



酒田市

山形県酒田市

山形県酒田市で発生した水害の際には、学生運営チームのメンバーが災害ボランティアとして現地で活動しました。被災した地域の片付け作業や清掃などを行い、地域の方々の生活再建をサポートしました。

このように総合ボランティアステーションでは、災害時の支援活動にも学生が関わる機会があります。



能登半島

石川県能登半島

石川県能登半島で発生した災害の被災地支援として、学生が現地に滞在しながら約1週間のボランティア活動を行いました。現地では、被災した住宅の片付けや清掃作業、地域の方々の生活を支える活動に取り組みました。

このような活動を通して、被災地の復旧を支えるとともに、地域の方々との交流や学びの機会にもなりました。



総合ボランティアステーション 登録学生団体

P.12

学生運営チーム



P.13

てらいく



P.14

エコクリーン



P.15

情報リテラシー教室



P.16

募集



東北学院大学

総合ボランティア ステーション



STEP 1

総ボラってなに？

総ボラとは、「総合ボランティアステーション」の略称であり、東北学院大学のボランティア活動を行う学生を支援する組織です。また、ボランティア活動に関する情報発信もしており、下記にある総ボラ登録フォームに登録すると随時情報を受け取ることができます！

STEP 2

相談ブース

総ボラ内には学生運営チーム（上記写真）が存在し、相談ブースは学生スタッフが行う活動になります。「ボランティアのこと、運営スタッフのこと、こんなボランティアやってみたい！」などなんでも相談・お話できる場所です！Instagram・Xにて相談ブース予約のリンクがあるので気軽に相談ください。



STEP 3

OneDay ボランティア

運営スタッフが、登録者のみなさまの「やってみたいこと」や、スタッフ自身が「お手伝いしたい！」「やりたい！」と思ったことをもとに企画する、一日体験型のプログラムです。
ボランティアをやってみたいけれど、何から始めたらいいかわからないという方におすすめです。

STEP 4

活動の紹介

総合ボランティアステーションの運営については学生ボランティアがそのサポートをしています。SNSにて私たちの活動も紹介しています。

【Instagram】



登録フォーム



てらいく

地域の子どもたちに

地域での“居場所”や

交流の場を創出する。



活動内容

★4つの児童館（連坊、荒町、東長町、荒巻）での定期活動
→学習支援、体を動かすレク、工作など様々な活動をしています！



★イベントの企画

→活動を通して生まれた、メンバーの“やりたい”を実現するイベントを毎年企画しています！
企画する上では、地域の方々や子どもたちのニーズに耳を傾けることを心がけています。



★地域のイベント（お祭りなど）への参加



人数

現在61名（2～4年生）
※26年度新規加入者を除く



年間スケジュール

定期活動として、4つの児童館での活動を通年で行っています。
てらいくが企画するイベントや地域のイベント等への参加は、その年の予定によって様々です。

活動日時・場所

4つの児童館で月1回ずつ、
計4回の活動機会があります！

- 連坊児童館
土曜日13:30～14:30
- 荒町児童館
土曜日14:00～15:00
- 東長町児童館
木曜日14:30～16:30
- 荒巻児童館（変更の可能性あり）
月曜日16:00～18:00

※イベントなどにより、活動頻度は変わります。

詳しくはSNSをチェック☆
活動の様子が見れます!!



@TERAIKU2025

EcoClean



EcoCleanとは

仙台市の街ゴミ削減と家庭ゴミ分別促進を目的に活動しています！
ただゴミ拾いをするのではなく、
ゲーム感覚で楽しめるゴミ拾いイベントに参加・企画しながら環境美化に取り組んでいます！



活動案内

ゲーム感覚 ゴミ拾いイベント

楽しみながら参加できるゴミ拾いイベントを開催しています。ミッション型式の清掃活動を通し街を綺麗にする体験を提供することを目指しています！

月1回の 定期清掃

大学周辺の清掃活動をメンバーで力を合わせて行っています。地道な活動を通して地域とのつながりを深めています！

EcoClean ブースの出店

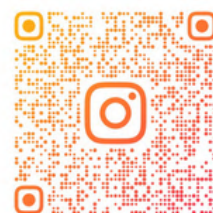
市民向けにゴミ分別についての知識を楽しみながら学べる体験型ブースを出展しています。一例として魚釣りのゲーム感覚でゴミ分別を学べる「ゴミ分別フィッシング」を開催しています！

私たちと一緒に活動しませんか？

日時：月2回

場所：東北学院大学五橋キャンパス内

※イベントなどにより活動頻度は変わります



@ECOTGU2025

TGU情報リテラシー教室

東北学院大学情報学部 of 学生有志が企画・運営しているボランティア団体

事業① 情報リテラシー教室

【採択】若林区まちづくり活動助成事業

開催：毎月第3土曜日 10時～11時

対象：仙台市内の小学4～6年生と保護者

会場：東北学院大学 未来の扉センター



4回開催
34人参加



事業② スマホ教室

【採択】わかばやし若者まちづくりプロジェクト支援事業

開催：毎月第1土曜日 14時～15時

対象：若林区在住の高齢者

会場：若林区中央市民センター

3回開催
44人参加



事業③ 出前授業

23件
290人

情報モラル教育 SNS講座
オンラインゲームとの向き合い方
プログラミング教室 スマホ教室



事業④ 出店

青葉区中央市民センターまつり 大沢児童館まつり 五橋祭・六軒丁祭
三本松市民センターまつり 若林区民ふるさとまつり 台原町内会まつり



飲食出店、輪投げ・射的



情報学部だからこそ
できる活動を地域のみなさんと楽しく！！
本気のガクチカもここで
作れます！！

メンバー93 人所属

お問い合わせ

MAIL : tgu.datascience@gmail.com (代表 金子遼哉)

団体作り
たい！

団体に入
りたい！

学生ボランティア団体

大募集

募集要項

人数 2人以上

対象 東北学院大学生

目的 地域のためならなんでも
OK

名前 自由に考えてきてくだ
さい！

ご相談は
こちらから👉





学生運営チームに質問！ なんでも相談室

Q&A

総合ボランティアステーションについて学生運営チームである私たちが
質問にお答えします！



Q 総合ボランティアステーションに登録した理由は？

A

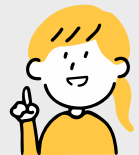
高校まではボランティアにあまり興味がなかったのですが、大学生
になって何か新しいことに挑戦したいと思ったからです！



Q どんな活動ができるの？

A

自分に合ったボランティアに参加できたり、社会への貢献だけでなく、
新たな出会いや価値観に触れることで自己成長につなげることが
できます！





Q 楽しかったことは？

A

地域の祭りに参加して、御神輿を担いだこと！
普段関わることのない地域の方々と交流できたこと！
授業だけでは学べない多くのことを学べたので、本当にボランティアに参加して良かったと感じました。



Q 大変だったことは？

A

能登半島での災害ボランティア活動です！真夏の炎天下での屋外活動だったため、みんなで暑さや虫に耐えながら頑張りました！とても大変でしたが、仲間がいたからこそ楽しみながら活動することができました！



Q ガクチカになりますか？

A

なります！当団体は、一般的なボランティアサークルとは異なり、学生に向けたボランティア参加支援や、自分たちでボランティア活動の企画・運営も行っていることが特徴です。そのため、企画力や課題解決力などを具体的なエピソードとともに伝えられるので、ガクチカとして十分アピールできます◎



今回のQ&Aが、皆さんのボランティアへの参加につながれば嬉しいです！
「こんなことも知りたい！」という質問があれば、ぜひお寄せください☆



Yamazaki Maho

東北学院大学 情報学部 データサイエンス学科
ボランティアコーディネーター 山崎 真帆

みなさんは、ボランティア活動にどのようなイメージを持っていますか。実はひと昔前まで、ボランティアには「ちょっと変わった人が行う自己犠牲的な活動」というイメージがありました。そうした空気を大きく変えたのが、1995年の阪神・淡路大震災です。100万人以上の人々が「何かできることはないか」と被災地へ駆けつけました。その中には、ボランティア未経験の大学生も多く含まれていました（全体の4～6割とされています）。大学生ならではの行動力や柔軟さは、被災地の復旧・復興を支える大きな力となりました。一方で、活動を通じて「自分自身も変わった」と感じた学生も多かったといいます。ここから、ボランティアは「誰もが気軽に参加でき、自分自身の学びや成長にもつながる活動」として広く認識されるようになったのです。

大学生活は、新しい世界に出会い、さまざまなことに「気軽に」挑戦できる貴重な時期です。ぜひボランティア活動を通じて、多くの人や地域と関わりながら、自分自身の可能性を広げていってください！



Gambe Nayuta

東北学院大学 教養教育センター
ボランティアコーディネーター 雁部 那由多

みなさんは、「ボランティア」と聞くと、どのような活動を思い浮かべるでしょうか。被災地での支援、子どもや高齢者との交流、地域のお祭りの手伝い、清掃活動、外国にルーツをもつ人へのサポートなど、その形は実にさまざまです。なかには、「特別な経験や知識がないと参加できないのでは」「自分にできることがあるのだろうか」と感じる人もいるかもしれません。しかし、ボランティア活動の出発点は、決して大きな決意や立派な使命感だけではありません。「少し気になる」「誰かの役に立てたらうれしい」「地域のことを知ってみたい」という小さな関心も、十分なきっかけになります。

私は災害や地域社会について研究してきましたが、地域を支える力は、特別な誰かだけではなく、日常のなかで少しずつ関わろうとする多くの人びとの存在によって生まれるものだと感じています。ボランティア活動は、誰かを一方的に助けるだけのものではなく、活動を通じて人や地域と出会い、自分の見方や可能性を広げていく学びの場でもあります。担当教員として、みなさんが安心して一歩を踏み出し、それぞれの関心や持ち味を活かして活動できるよう、活動先の紹介や相談を丁寧に行っていきます。不安なこと、迷うことがあれば、いつでも気軽に話してください。みなさんの「やってみたい」という気持ちをあたたかく支えながら、ともに活動を育てていきたいと思います。



お問い合わせ

東北学院大学 五橋キャンパス
〒984-0075 宮城県仙台市若林区
清水小路3-1 3番地1
3.9★ (54)

東北学院大学 地域連携センター (連携推進課)
〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1
五橋キャンパス シュネーダー記念館1階
TEL : 022-354-8140
FAX : 022-354-8141
E-mail : renkei@g.tohoku-gakuin.ac.jp

INFORMATION

【Instagram】

【 X 】

登録フォーム

